

MovieMaker と PowerPoint でビデオ編集

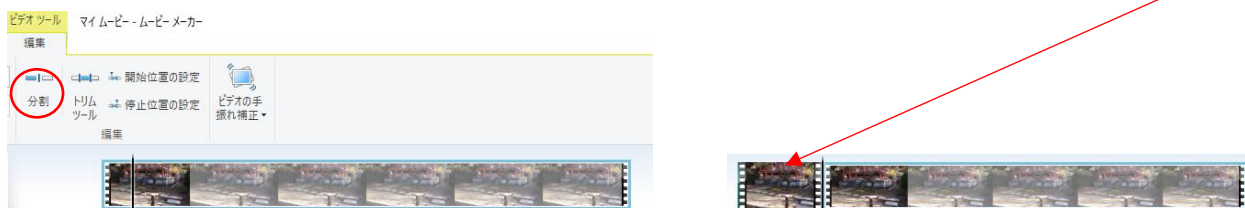
MovieMaker は、ビデオのトリミング・スピードの変換・オーディオの追加などが簡単にできます。しかし、凝ったビデオはできないので、ビデオの同時再生・PIP 効果・自己作成のタイトルロゴやキャプション、吹き出しの挿入など、PowerPoint を使うほうが変化のあるものを作成できる。

まずは MovieMaker で編集します。

・ビデオのトリミング

長いビデオや不必要な部分は、トリミングしてカットしましょう。
ビデオの前や後をカットするときは、スライダーを動かして位置を決め編集から分割し、カット部分を削除する。

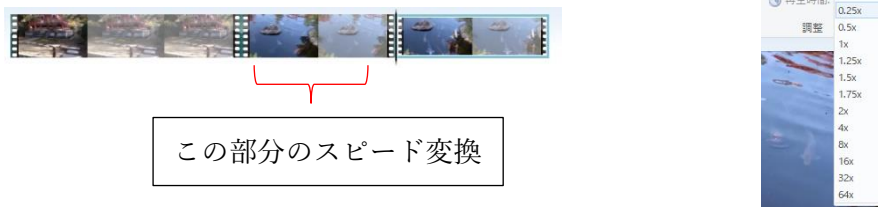
ビデオの中途をカットするときは、カットする前の位置で分割・後の位置も分割し、カット部分を削除する。



(ビデオを分割したり、複数のビデオのときは、切り替え効果などを使うと変化があるものができる)

・スピードの変換


全体をスピード変換することはあまりないと思うので、部分的に変換します。
トリミングでやったように、ビデオを分割します。
スピードを変換する部分を選択し、速度からスローモーションのときは、1x より小さい数字、スピードを速くするときは、1x より大きい数字を選択する。



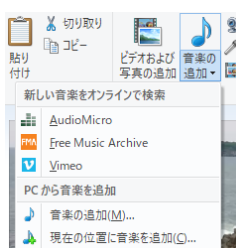
通常スピードで再生した部分をスローモーション (またはスピードアップ) でもう一度再生する手法もある。
スピード変換する部分をコピーして貼り付け、後の部分をスローモーションにする。



・オーディオの追加と音量調整

ビデオの音量を調整は、ビデオツールの  で行う。
部分的に行うときは、分割する。

BGM の追加は、音楽の追加で行う。



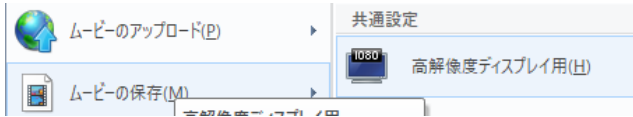
追加したオーディオの音量調整は、音楽ツールのオプションの部分的に行うときは、分割する。
例えば、ビデオに会話が入っていて、BGM が邪魔のときなど。



で行う。

・保存

編集し終わったら、ビデオとして保存する。

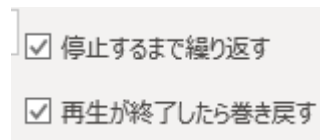


PowerPoint で凝った編集

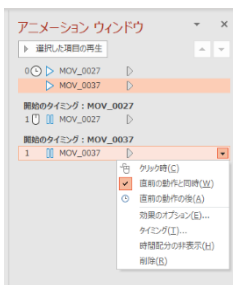
・ 1 画面で複数のビデオを再生

複数のビデオを画面に挿入する。再生で開始を自動にする。

この場合は、先に挿入したビデオの再生が始まり、終わってから（ストップする）次のビデオが再生される。右のようにチェックを入れると先のビデオもストップしないで再生する。



複数のビデオを同時に再生したいときは、アニメーションをクリックしてアニメーションウィンドウで後から挿入したビデオの開始のタイミングを「直前の動作と同時」にする。



・ビデオに枠を付けたリ、形を変える

「ビデオ スタイル」や「ビデオの枠線」で行う。



・画面のトリミング

書式からトリミングすると画面の一部だけを再生できる。
(再生からのトリミングは、ビデオの長さの調整)



・PIP 効果

(PIP は、Picture In Picture のこと)

ビデオの上にビデオを挿入する。(再生の仕方などは前述と同じ)



ビデオにキャプションやクレジットや吹出しを入れる。

キャプションを入れるために作成しておいた画像を挿入。

アニメーションで開始のパターンを選択し、「直前の動作と同時」にして、継続時間と遅延を設定する。

このままではずっと表示されたままなので、アニメーションの追加をクリックして、

終了のパターンを選択し、「直前の動作と同時」にして、遅延を開始で設定した時間より遅くする。



(テキストボックスやワードアートでも可能。ただし、1文字ごとの設定をすることができなくなる)

アニメフレームに入っている画像でデコレーションするときは、黒い陰が残った部分があるので、透明度を上げてください。



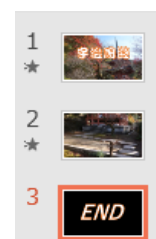
・タイトルやクレジットを追加

ビデオの画面に挿入するより、スライドを追加するほうが良い。

画面の切り替えを自動にする。切り替え効果を付けるのも良い。

画面の切り替えがプレビューでは見れなくてもビデオに変換すると反映している。

タイトルやクレジットにもアニメーションを付けましょう。



・保存

ファイルからエクスポートを選択し、

ビデオの作成をクリックする。

サイズを決めて、ビデオ作成ボタンをクリックする。

